

2011年～2012年度 キャビネット運営方針

1. 東日本大震災の復興支援を行なう

地区年次大会の各分科会シンポジウムに於いて協議された今後の震災対応についての意見を集約し、活動の方針性を検討すること。そしてまた、全日本8複合地区の支援体制との連携を図りながら、中長期的な復興支援のあり方を早急に構築し、ライオンズとしての最大限の支援を行う。

2. 会員の維持と増強を推進する

LCが発展をするために、このテーマは、永遠の課題です。今日の経済及び社会状況の中での会員の増強は、簡単ではありませんが会員の皆さまと連携し問題解決に努力を致します。

新年度国際協会の方針に、地区に新制度を導入して3年に亘り会員増強に取り組む計画でありますので実行すると共に、単年度では、各クラブ会長並びに地区役員の皆さまにお願いして具体的な数値目標を設定し、その対策を考えて頂き会員増強を推進したいと考えております。

退会者の防止については、地区委員会が中心になり各クラブと連携をし具体策を考え実行いたします。

3. 次代を担う青少年の健全育成

十数年に亘り我々は、地区内各クラブを中心に“ダメゼッタイ”の下で薬物乱用防止活動を継続して参りました。今日その活動が日本全体のLCに広まり、また行政機関に認められ後援を受ける迄になりました。

そこで地区として、「薬物乱用防止キャンペーン」を2011年10月16日(日)日比谷公会堂で開催をし、子供達を薬物乱用から守ると共に社会を巻き込む大きな運動にしたいと考えています。青少年の健全育成に取り組むことは、これからのLCの発展の礎であると確信をし、更に強力に推進して参ります。

4. 環境問題

地区環境委員会の各クラブに対する啓発活動及び各クラブの環境保全活動を更に力づく支援を行なうと共に、国際会長方針の100万本植樹キャンペーンを各クラブと連携し推進を致します。

5. 奉仕活動を見直す

ライオンズの奉仕活動で大切なことは、1. 受ける人に心から喜んでもらうこと。2. 受ける人に喜んでもらうことにより会員各位が遣り甲斐を感じる。3. 社会から評価されること。の三点に尽きると考えます。

是迄各クラブは、立派な奉仕活動をされて来ましたが、もう一度上記の視点に立ち見直しを行い、更に良い奉仕活動にしていきたいと思います。

又日本にLCが設立されて六十年になり、ライオンズを取り巻く環境も会員の価値観も大きく変化をしております。これからは、社会で評価されることを、今までよりも意識をして奉仕活動を行ない、社会でのLCの認知度を高めることが重要であると考えます。

6. 法人化の問題

この改革は、言うは易く行うは難しの言葉のように大変難しいことですが、ライオンズの高揚と、これから日本のLCの発展を考えると、決して避けることの出来ない大事なことです。会員の皆さまと英知を結集して実現をしたいと考えます。

2011-2012年度 決定事項

- 〈1〉 ウィンクン・タム 国際会長
(中国・香港)

テーマ : 「BELIEVE ～ 信じる」

2011～2012 年度、各地区は、家族同様に仲間の会員と接し、会員がもたらす力を信じ、会員増強に向けて行動を起こすよう奨励されます。私たちは新たな高みへと自分たちの奉仕を拡大していくことの重要性を信じ、必ず成功させるのです。その推進力となるのは、100 万本の木を植えるという特別なキャンペーン。これまで以上に多くの若者やレオを私たちライオンズが行っているすべてのことに参加させることで、私たちの未来をしっかりと築いていけることを信じます。一人ひとりが違いをもたらすことができることを信じるのです。ライオンズとして結束した時、世界全体を変えることが可能であることを信じるのです。ひとつの人生、あるいは世界を変えることは、私たち一人ひとりから始まることを信じるのです。

- 〈2〉 330-A地区アクティビティ・スローガン
「喜ばれる^{まこと}真の奉仕・社会と共に」

- 〈3〉 ガバナーズ・スローガン
「今を見据え、さあ！ 始めよう」
明るい豊かな社会づくりと、ライオニズムの高揚のために

- 〈4〉 ガバナーズ・テーマ
「もっと友愛を！ もっと奉仕を！」

- 〈5〉 ガバナー・カラー
ワインレッド (D I C 28版 No.230)

○第95回国際大会

日程 2012年6月22日～26日

場所 韓国・釜山

○第50回OSEALフォーラム

日程 2011年11月24日～27日

場所 フィリピン・マニラ (パサイ市)

○330-A地区第58回年次大会

日程 2012年4月21日 (土)

場所 東京プリンスホテル

○330複合地区第58回年次大会

日程 未定

場所 未定